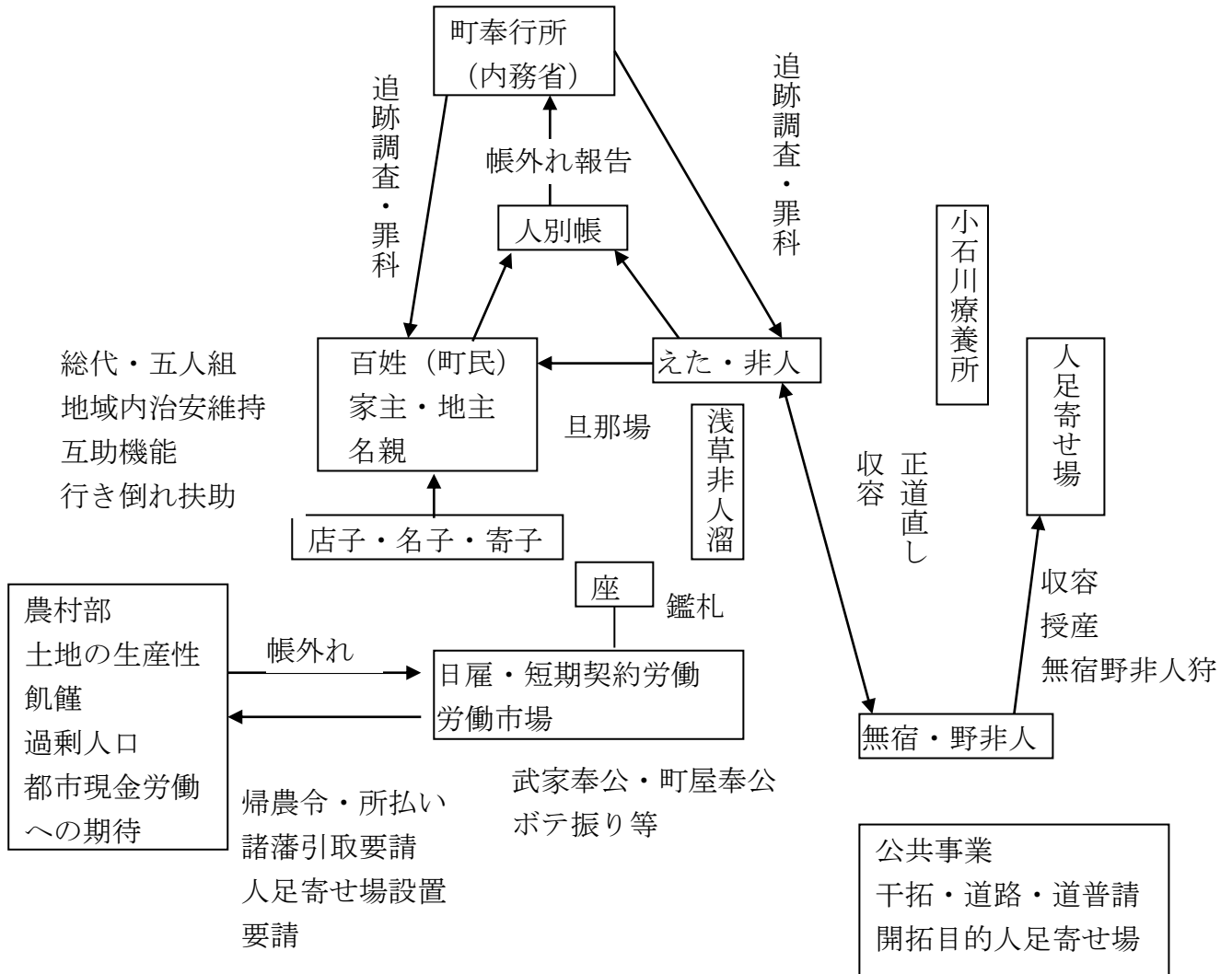


# ソーシャルインクルージョンと釜ヶ崎・野宿生活者

釜ヶ崎資料センター 松繁逸夫

## 1) 江戸の社会的排除と再包摂の模式図

\*お布施米の備蓄 \*講（念仏講・頼母子講など）



参考：「江戸の社会構造」南 和男・1969年 塙選書 67 塙書房

## 2) 釜ヶ崎の社会的排除と再包摂の原イメージ模式図

### \*参考一戦後の状況 再包摂の指針

復員者等の失業対策に関し各省に対する要望事項 昭和20年11月16日 閣議決定

#### 第2 要望事項 1 共通事項

##### (1) 将来人を採用する場合は

(イ) 左の者に付収入所得、戦災状況、扶養家族等を考慮し優先採用すること

傷痍軍人軍属、復員軍人軍属、戦没軍人軍属遺族、在外邦人家族、引揚民、戦災者、徴用解除者

(ロ) 特別の事由ある場合を除き女子、高齢者、年少者は能ふ限り男子青壮年者を以て代替すること

(ハ) 国民各自は前職、従前の地位、学歴等に拘泥して徒らに地位を求むることなく各職場に於て新日本建設の道に邁進せざる可からざるの心構を一般に徹底すること

##### (2) 企業主をして自力更生に依り企業開始せしむる如き機運を助長すること

(3) 各種事業をして求職者を出来得る限りその所在地（庁府県）に於て吸収し得る如く計画し彼等の徒らなる大都市集中を避くること

##### (4) 特に知識階級離職者に対する授職の為左の措置を講ずること

(イ) 官営若は民営を以て新日本建設に必要な政治、経済、社会、科学、文化等の調査研究機関並に海外文化の翻訳紹介を目的とする機関を設置し知識階級離職者を吸収すること

(ロ) 各種事業団体（例農業会）に於ては技術、事務両面の人的整備充実を図り技術者をして事務的業務に従事せしむる等のことを避くること

(ハ) 広く中小都市、農山漁村に図書館、診療施設、娯楽施設及保育所等文化更生施設を充実すること

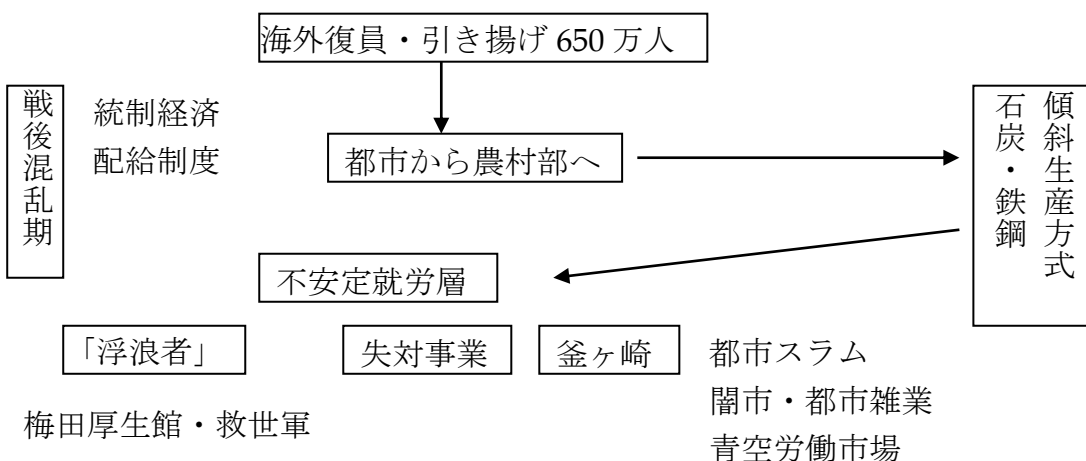
(ニ) 戦災せる官庁、公共団体等をして戦災復旧に必要な諸般の事務（例戸籍簿、地籍簿の再製、復旧事業の測量、設計、製図）を開始すること

(ホ) その他各種の事業を振興し、広く知識階級離職者を吸収すること

#### 7 文部省

(1) 復員者に対する補習教育又は再教育施設を設け学校の修業年限を旧に復せしむる共に国民学校義務教育年限の延長を実施すること

各省に於て直営若は補助事業を実施する場合は(1)実施主体、(2)実施時期、(3)地域別使用労務者数及職種等を厚生省（勤労局長宛）に通報され度い



農村から都市へ 農業立国から工業立国へ

五五年体制・高度成長・暴動期

社会保険・保障制度の整備

労働市場の拡大

サラリーマン・中間層の形成  
重層下請け構造の定着・系列化

不安定就労層  
工場内労務下請け会社  
建設・土木

金のたまご

零細自営・流通産業  
膨張

大阪府労働部

日本経済のボトルネック・港湾  
万博準備・建設土木

ここは天国釜ヶ崎  
じんわり待って出直そう

一時的滞留

天六  
中央更正相談所

青空求人・むきだしの暴力

今宮診療所  
医療センター

ドヤの増大・個室化

アオカン・一時的野宿

大阪府労働部分室  
労働福祉センター

あいりん学園  
新今宮小中学校

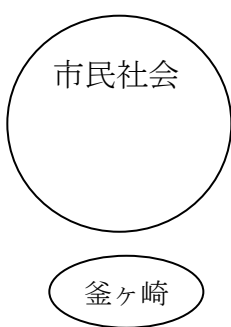
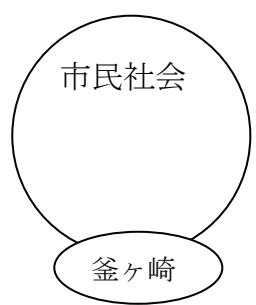
自彊館

港寮

あんこ・立ちん坊  
無宿者・無籍  
ドヤ者

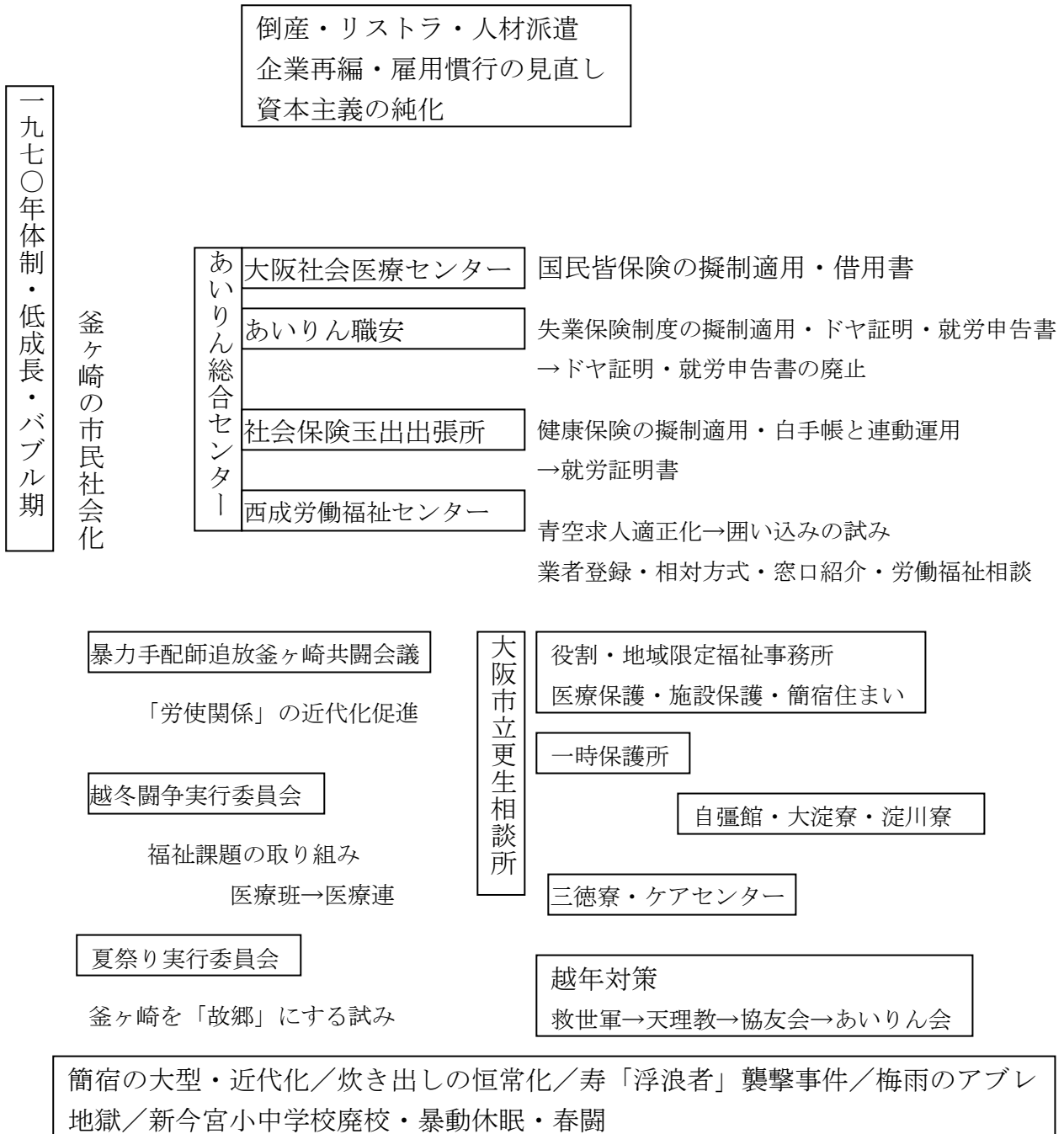
俺たちいなくなりや  
ビルも道路もできやしねえ

社会帰属



サブカルチャー  
ハマータウンの野郎ども  
帝国主義国家内植民地  
落層・民の鎮め石  
スラム社会・・・

3) 釜ヶ崎・野宿生活者の社会的排除と再包摂の現イメージ模式図



釜ヶ崎資料センターは1986年12月30日と1987年1月5～7日の4日間、雇用保険給付金支給時間のあいらりん職安前フロアで聞き取り調査を行った。目的は急増した手帳所持者（1981年15,191人→1984年18,881人→1986年24,458人）が新規釜ヶ崎来入者なのか従来から釜ヶ崎にいて新しく手帳を作成した者なのかを把握すると共に、80年代初頭の不況の影響を探ることにあつた。結果、不況業種の製造業からの参入が多いことが確認された。

・釜ヶ崎に来る直前の職業

製造—28人（繊維1・鉄鋼8・造船5・機械2・他12）／金融・販売・サービス—3人／建設・土木—27人 自営—12人／農林・漁業—3人／他—12人 計—85人

・釜ヶ崎に来る直前の職業、退職理由

合理化・倒産—32人／労災事故・病気—5人／自己都合退職—26人／他—22人

オール日本釜ヶ崎化と高齢社会の中の釜ヶ崎

社会保険制度の実質的崩壊

資本活動の一国内寡占化から世界寡占化状況の下で  
社会生活はマクロの決死圏からミクロの決死圏へ変貌

正規雇用の減少／臨時・パート雇用の増大／単身世帯の増大（少子高齢・貧乏人は結婚できない・子どもを作れない）／階層上昇幻想の崩壊／多様強調の中での自己喪失／自己の生活における危機管理能力の社会的喪失／国内労働市場の質的变化／個々人の努力の社会的強制→自立支援・就労支援プログラム

あいりん総合センター	大阪社会医療センター	借用書→請求書発行
	あいりん職安	白手帳発行の抑制
	社会保険玉出出張所	就労証明書→証明書廃止予定
	西成労働福祉センター	登録業者の減少・輪番登録制・職業訓練

釜ヶ崎反失業連絡会

高齢社会の新たな施策模索

巡回相談員

市内巡回野宿生活者と面談・自立支援センター入所

アセスメントセンター

自立支援センター

公園仮設避難所

福祉マンション

大阪市立更生相談所

居宅保護・野宿生活者

救急業務連絡センター

一時保護所

自彊館・大淀寮・淀川寮

三徳寮・ケアセンター

釜ヶ崎支援機構

就業機会提供事業 高齢日雇労働者・野宿生活者

宿所提供事業

福祉相談部門

お仕事支援部

西成区健康福祉センター  
支援・生活運営課

